

『犬と猫の栄養学』 訂正とお詫び

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

	訂正箇所	誤	正
p.19	本文左側 下から2行目	必須脂肪酸と非必須脂肪酸に分類されます。必須脂肪酸は……	必須アミノ酸と非必須アミノ酸に分類されます。必須アミノ酸は……
p.19	本文右側 上から4行目	必須脂肪酸から体内合成することができます。	非必須アミノ酸から体内合成することができます。
p.27	コラム 上から7行目	カルシウムが遊離	リンが遊離
p.30	ヒト、犬、猫の 歯の構造の比較	少臼歯 大臼歯	小（前）臼歯 大（後）臼歯
p.47	24 解答部分	水溶 脂溶	脂溶 水溶
p.53	コラム 下から2行目	総合栄養食ではありません	総合栄養食ではないことがあります
p.85 p.89 p.133	5 解説部分 上から3行目 12 問題	特別療法食	療法食
p.117	コラム 上から2行目	尿中の	尿路感染により尿中の
p.117	下から2行目	肥満は原因ではありませんが	肥満は、犬では直接的な原因ではありませんが
p.122	まとめ 最後の行	甲状腺機能亢進症	甲状腺機能低下症
p.127	コラム 上から4行目	筋肉量から	筋肉が